
日医標準レセプトソフト クラウド版 ご紹介資料

日本医師会ORCA管理機構
2019/08/09



はじめに

日本医師会が開発してきた日医標準レセプトソフトのクラウド版をリリースしました。
診療スタイルの変化に柔軟に対応できるようにクラウド化とエンジン化を進め、
新たな日医標準レセプトソフトを提供していきます。

医療機関の医療情報システムを安全に
安心してご利用いただけるように
システムは日々進化し続けます。

日医 I T 化宣言 2016

ORCAプロジェクト推進をメインとした日医 I T 化宣言（H.13年）に代わり、今後の日医の医療分野のIT化における取り組みの指針として、H.28年6月に公表



- 日本医師会は、安全なネットワークを構築するとともに、個人のプライバシーを守ります。
- 日本医師会は、医療の質の向上と安全の確保をITで支えます。
- 日本医師会は、国民皆保険をITで支えます。
- 日本医師会は、地域医療連携・多職種連携をITで支えます。
- 日本医師会は、電子化された医療情報を電子認証技術で守ります。

日レセ クラウド版の概要

• 安心感

- すでに18,000医療機関で利用されている日医標準レセプトの機能が、そのままクラウド化されました
- 3省ガイドラインに準拠したクラウドサービスなので、安心してご利用いただけます

• 使用感

- クラウド版の使用感はスピードを含め、ほとんど変わりません
- 操作画面の見た目も変わらないため事務員さんもスムーズに利用できます

• 利用料

- 医療機関は日レセ クラウドを安価で使用できます
 - インターネット回線を使用するため、セキュリティ費用が発生します
 - オプション（有償）サービスを利用することで、医院独自の帳票を利用したり、多くの電子カルテと連携できます

• 将来性

- Web型電子カルテが次々に発表されるなか、診療報酬ではデジタル加算（電子紹介状、電子処方箋 等々）の波も予想されており、日レセ クラウドはそれらに対応する「土台」となります。地域医療連携への参加も日常の手間をかけずに容易になります
 - クラウド版にはサードパーティ製の経営支援システム、問診システムなどがバンドル（無償）されます
- ICT化の進む医療機関内はその影響で「サーバ」だらけになりかけており、セキュリティGLに準拠していない安易なシステムも多い状況です。安心、安全なクラウド環境に移行することで院内環境の整備とコストの節約が可能となります

日レセ クラウドの特徴

端末の代替機の準備が容易

パソコンが壊れても新しいパソコンを再設定することで復旧します



医療改正に伴う機能更新は不要

プログラム更新はクラウドサーバで一括更新されます



レセプトの確認がどこからでも可能

ご自宅や往診先などの外出先から診療内容が確認ができます



院内にサーバは不要

煩わしいケーブル配線や面倒な設置作業は必要ありません



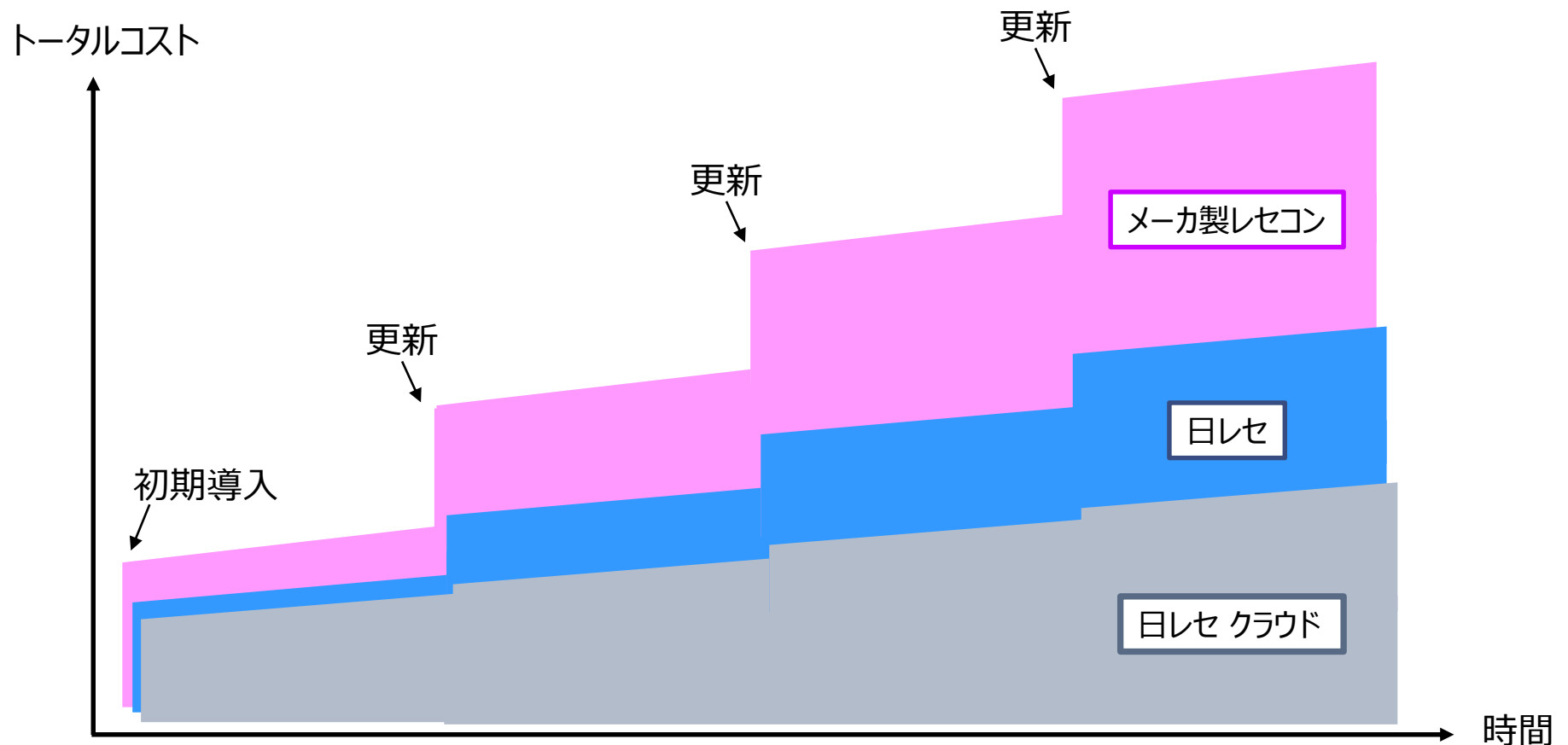
他サービスとの連携が可能

経営分析や遠隔問診などオプションサービスとの連携ができます



クラウド版利用による コストメリットの向上

日レセ クラウドは、サービスを利用するシステムなので
制度変更による機器更新などは不要です。
コンシューマ製品を採用できますので、更新時でもコストメリットが出てきます。

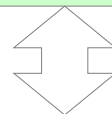


日医IT認定サポート事業所（認定ベンダー）からの導入



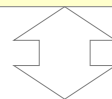
【日本医師会ORCA管理機構】

クラウドサービスの提供



【認定ベンダー】

1. 日本医師会ORCA管理機構への申請・届出
2. ネットワーク設計、機器の設置工事
3. 端末への電子証明書組み込み
4. 日レセのマスタ設定やデータ移行
5. 操作指導、マニュアルの提供
6. 制度改正に伴う変更点の案内
7. 障害時の対応
8. その他不明点のご相談



【医療機関】

クラウドサービスの利用



ご利用にあたっては認定ベンダーにご相談ください

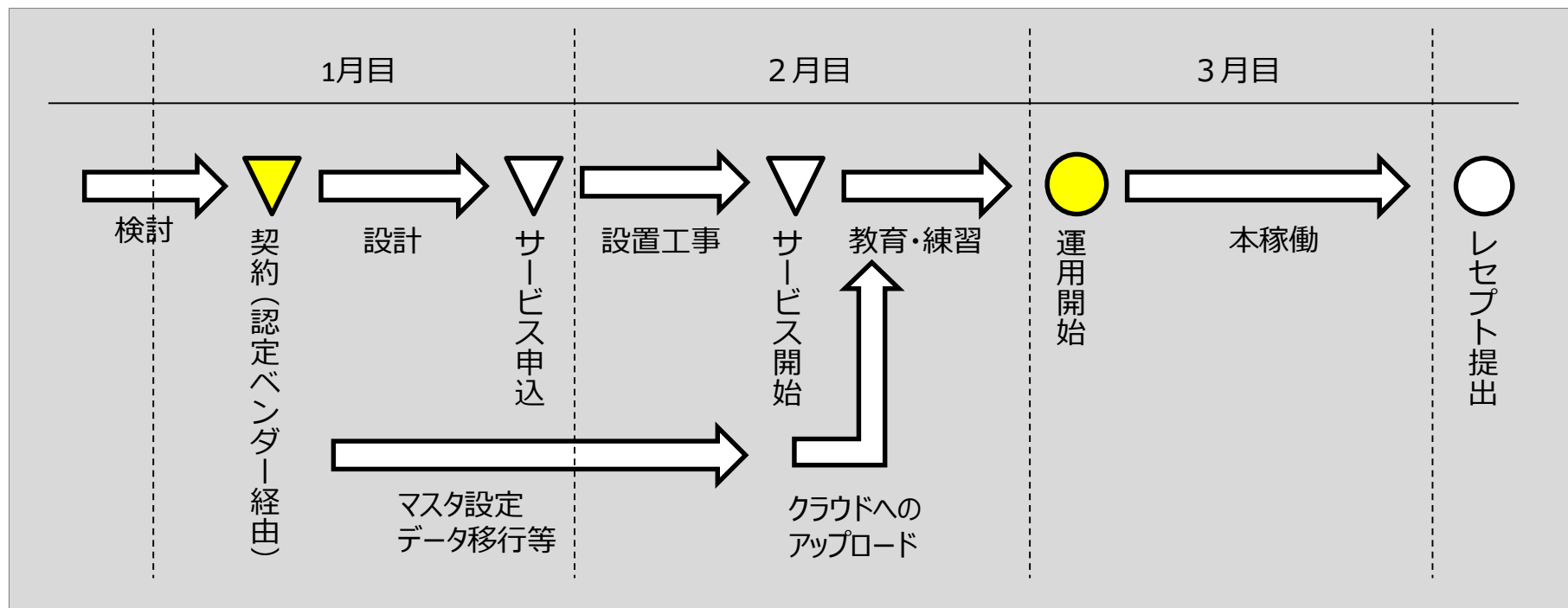
ご利用までの手順

検討	導入スケジュール、予算、ネットワーク構成等の検討 (認定ベンダーにご相談ください)
お申込み	日本医師会ORCA管理機構にクラウドサービスのお申込み (認定ベンダーが代行いたします)
接続アカウント の受取	日レセクラウドをご利用いただくための接続アカウント (電子証明書・VPNアカウント・ルータ等) の受取
機器導入・設定	端末への電子証明書及びクライアントソフトのインストール、 セキュリティ環境の構築、疎通確認 (院内の構築作業は認定ベンダーにご相談ください)
日レセ マスタ設定	日レセに医療機関情報等の登録 (マスタの代行登録は定ベンダーが行います)
教育・運用	日レセに操作手順の習得、運用 (認定ベンダーにご相談ください)

※認定ベンダーにて係る費用については、認定ベンダーにお問合せください。

ご利用までのスケジュール

日レセクラウドをご利用いただくまでの目安です。
余裕を持った日程での導入をご検討ください。
スケジュールについてもご不明内点は、認定ベンダーにご相談ください。



マスタ設定やデータ移行は、ローカルのサーバで作業を行います。
サービスのお申し込みからクラウドサービスが開始されるまで最短で3～4週間程度の時間が必要です。

お申し込み方法

1. 利用規約をお読みください。

- ・[ORCAMOクラウド サービス利用規約](#)
- ・[ORCAMOクラウド セキュリティ利用規約](#)

2. お申込み書に必要事項を記入してください。

- ・[日医標準レセプトソフト クラウド版およびセキュリティサービス利用申込書兼同意書](#)
※VPN（ルータ型）サービス利用の場合
 - ・[ORCAMOクラウド VPN（ルータ型）サービス利用申込情報シート](#)
 - ・[ORCAMOクラウド 遠隔保守用VPN（ルータ型）サービス利用申込情報シート](#)

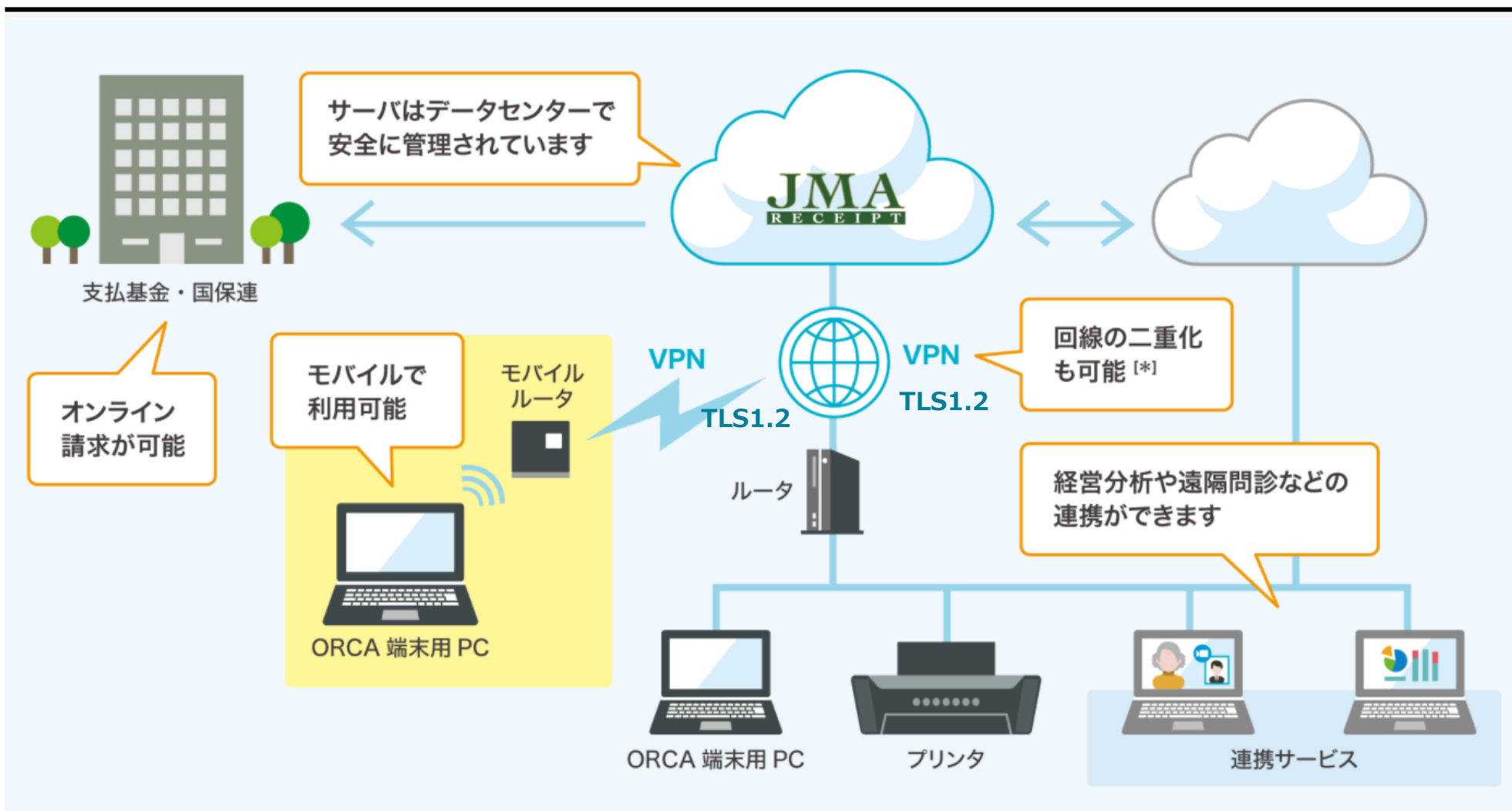
3. 利用料のお支払い方法をご指定ください。

- ・[NTTファイナンス利用申込書](#)

認定ベンダーがお申込みの代行をしていただけます。

※ご不明な点は、**日本医師会ORCA管理機構**にお問合せください。

システム構成（例）

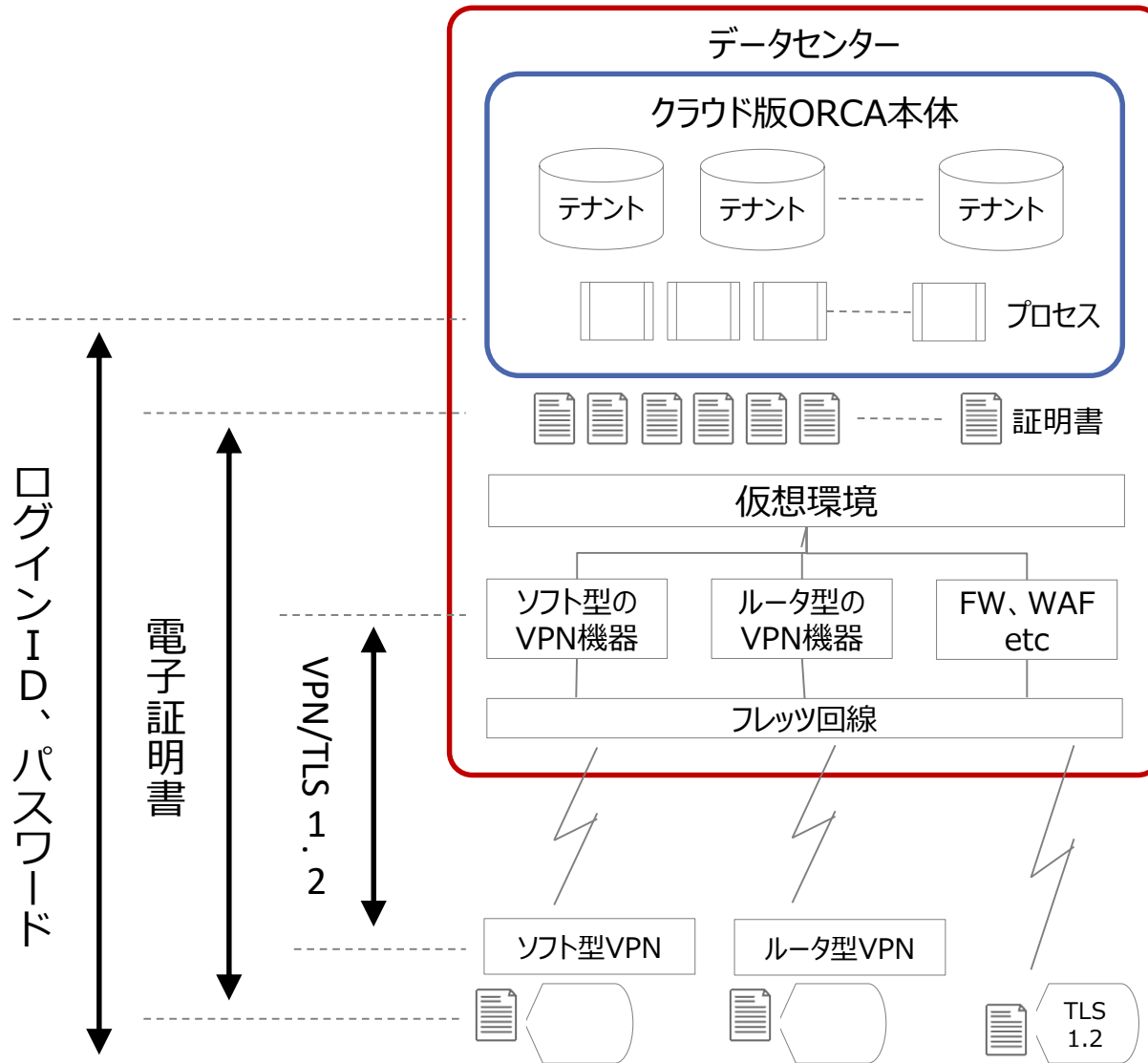


日レセクラウドをご利用いただく場合の構成例です。

院内には、下記の機器が必要になります。

- (1) 日レセクラウドを操作するパソコン
- (2) 領収書や処方箋を印刷するプリンタ
- (3) 安全に通信をするためのVPNルータ（TLS1.2やソフトVPNの場合は不要）

3重のセキュリティ対策



安心してお使いいただけるように、
3省ガイドラインに準拠した厳重な
仕組みでサービスを提供します。

3重のセキュリティ対策を 施しています

1. VPN、TLS1.2で流れる
情報を保護
2. 電子証明書で端末を特定
3. IDとパスワードで人を特定

日レセ クラウドの利用料（旧プラン：2020年3月末迄の利用開始の場合）

【日レセクラウド 利用料】

モデル	月額(税込)	概要
ベーシック	0円	APIの利用がない場合（monsiaj/glclientのみで利用）
スタンダード	1,100円	参照型APIを利用する周辺アプリと連動する場合（頭書き連携など）
デラックス	3,300円	読み書きAPIを利用する周辺アプリと連動する場合（予約情報連携など）
オプション	月額(税込)	概要
カスタムバッチ	2,200円	独自帳票（カスタマイズ帳票）、ユーザプログラム起動（帳票系）、県単市町村公費除く
CLAIMプロキシ pgBouncer	5,500円 0円 2023年3月末まで無償	CLAIM連携をするアプリ用サービス DB直接参照を利用するアプリ用サービス

【バックアップサービス利用料】

オンプレミス型ORCA	月額(税込)	概要
バックアップサービス	550円	オンプレミス型ORCAを利用しているユーザにデータセンターでのデータ保存サービスを提供

【セキュリティサービス 利用料】

契約形態	初期費用（税込）	月額利用料（税込）	
VPN（ルータ型）サービス	66,000円	2,200円	1年間の利用が条件 1年未満は違約金あり（1,000円(税込)×残月数）
VPN（ソフトウェア型）サービス	0円	880円	クライアント毎にサービスは必要です
TLS1.2サービス	0円	550円	電子証明書の発行枚数毎にサービスは必要です 10通まで上限2,200円(税込)となり、以降10通単位で2,200円(税込)がかかります。2019年10月よりサービス開始

※導入機器費、マスタ設定、操作説明、日常のサポートについては、認定ベンダーにご相談ください

日レセ クラウドの利用料（新プラン：2020年4月以降の利用開始の場合）

【日レセクラウド 利用料】

モデル	月額(税込)	概要
基本利用料	2,200円	APIの利用有無にかかわらず
オプション	月額(税込)	概要
カスタムバッチ	2,200円	独自帳票（カスタマイズ帳票）、ユーザプログラム起動（帳票系）、県単市町村公費除く
CLAIMプロキシ pgBouncer	5,500円 0円 2023年3月末まで無償	CLAIM連携をするアプリ用サービス DB直接参照を利用するアプリ用サービス

【バックアップサービス利用料】

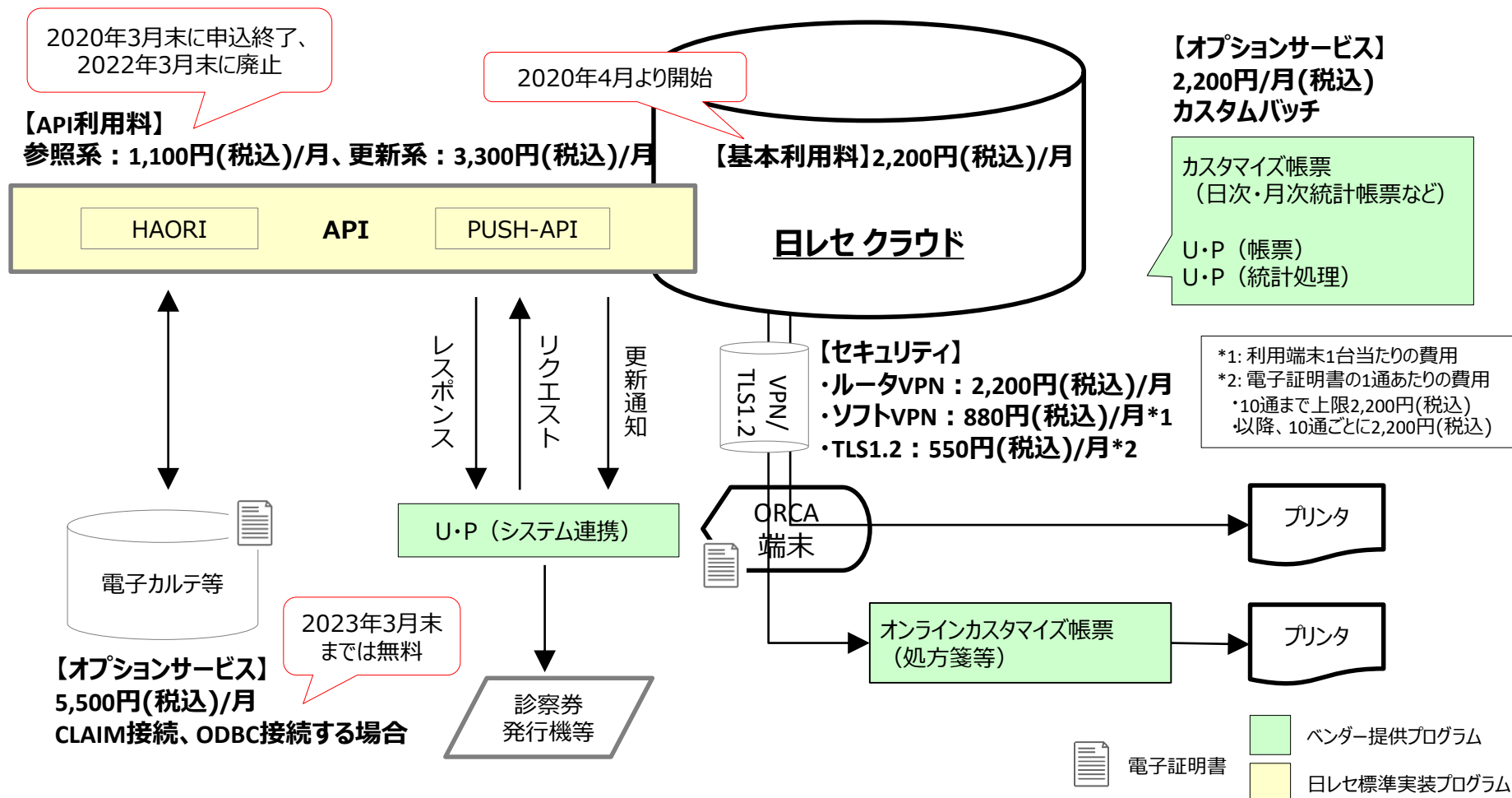
オンプレミス型ORCA	月額(税込)	概要
バックアップサービス	550円	オンプレミス型ORCAを利用しているユーザにデータセンターでのデータ保存サービスを提供

【セキュリティサービス 利用料】

契約形態	初期費用（税込）	月額利用料（税込）	
VPN（ルータ型）サービス	66,000円	2,200円	1年間の利用が条件 1年未満は違約金あり（1,000円(税込)×残月数）
VPN（ソフトウェア型）サービス	0円	880円	クライアント毎にサービスは必要です
TLS1.2サービス	0円	550円	電子証明書の発行枚数毎にサービスは必要です 10通まで上限2,200円(税込)となり、以降10通単位で2,200円(税込)がかかります。2019年10月よりサービス開始

※導入機器費、マスタ設定、操作説明、日常のサポートについては、認定ベンダーにご相談ください

日レセ クラウドの利用料の内訳



2020年4月より新プランの提供を開始、2022年3月末にて旧プランは廃止となり、旧プラン利用者様も新プランへ引継となります

※ご不明な点は、日本医師会ORCA管理機構にご相談ください

日レセ クラウドのメリットとデメリット

【メリット】

- ・セキュリティの高いデータセンターでデータが管理されるのでハッキング等のリスクが低い
- ・安全なセキュリティ対策を講じているので、情報の盗聴のリスクが低い
- ・大規模災害時でもデータは安全なデータセンターで保管される
- ・**定期的に発生するOSの更新、医療改正に伴うプログラムの更新作業が不要**
- ・**院内にサーバを置く必要が無い**
- ・日レセを利用する端末から直接電子レセプト請求が可能になる
- ・Linuxのスキルが無くても導入ができる
- ・操作性は、従来のオンプレ型日レセと変わらない
- ・VPNサービスはルータ型とソフト型で二重化できるので、可用性を高めることができる
- ・今後、クラウドサービスが増えてくるので、日レセに限らないサービスが利用できるようになる
- ・**在宅や往診など、診療所以外でも医療情報を活用できるようになる**
- ・**地域医療連携に参加しやすくなる**

【デメリット】

- ・VPN、TLS1.2のサービス利用料と連携機能の利用料が発生する
- ・日レセクラウドを利用する端末、連携する装置には電子証明書を組み込む必要がある
- ・電子証明書の発行に数日の時間が掛かる
- ・データセンターの障害やインターネット回線の障害が発生するとサービスが利用できなくなる
- ・インターネット回線の込み具合でレスポンスが変化することがある